

**【第290号 紙面案内】**

第2～3面……大会プログラム

第4～7面……各部会、各委員会からの連絡

## ジャーナル化の原点

機関誌委員長 樋口 弘夫 (和光大学)

本学会会員の皆様には日頃より、日本マネジメント学会誌 経営教育研究の発行に係わりご協力をいただきまして、衷心より御礼申し上げます。本年7月に、17巻2号を発行いたしました。これは旧称、日本経営教育学会機関誌のジャーナル化の第14号にあたります。

ジャーナル化を主導された機関誌委員長の森川信男先生は、その趣旨を以下にまとめられました。

第一は、学会内部への研究成果の周知徹底である。機関誌は、何よりもまず会員の研究成果の発表の場であるが、ジャーナル化によってそうした機会が大幅に拡大し、学会活動をいっそう活性化することが期待できる。

第二は、学会活動のいっそうの統合化である。本学会は、全国研究大会、部会、産学交流シンポジウム、機関誌、会報など多岐にわたる活動を展開しているが、ジャーナル化によりそうした活動の迅速かつ有機的な連結を図る必要がある。

第三は、学会外部への情報発信の強化である。あらゆる組織は、社会への組織成果の発言によって初めてその基礎を確固とされるが、ジャーナル化によってその研究成果を広く世に問うことによって学会の存在意義がいっそう堅固なものとなろう。

学会を取り巻く環境が厳しくなるなか、ジャーナル化の原点にたちかえり、機関誌委員会一同、学会活動の活性化に取り組んでまいり所存です。

毎号、特集論文と投稿論文に係わり、会員の先生方には、原稿・査読をお願いいたしております。ご多忙の中ご快諾・ご執筆いただき改めて感謝申し上げます次第です。

査読につきましては、先生方には厳正かつご丁寧な査読をいただいております。査読の目的が、学会誌のレベルを十分に満たす論文を選考することにあることは繰り返すまでもありませんが、それ以上に、学会に課せられた教育的側面を大切にすることであると考えます。実際、査読の過程で、先生方から掲載の妥当性のみならず執筆者の成長を願ってのアドバイスをいただいたり、基本的な諸点についてまでご指摘くださることが、本学会誌の査読の特徴であり、投稿論文について更なる推敲を促す契機になっております。

会員の皆さまのさらなるご協力をお願い申し上げます次第です。

## 日本マネジメント学会第70回全国研究大会プログラム

### 統一論題 「地域企業の経営戦略とマネジメント」

会場：静岡産業大学 磐田キャンパス

#### 第1日 2014年11月14日(金)

14:30～16:00 企業見学 ヤマハ発動機株式会社コミュニケーションプラザ  
17:30～ 理事会(第一会議室)

#### 第2日 11月15日(土)

9:00～ 受付

9:30 会長挨拶 日本マネジメント学会会長 加藤茂夫  
開会挨拶 第70回全国研究大会実行委員会委員長 杉山三七男

9:40～15:40 統一論題セッション(報告:各40分 討論70分 計150分)(大講義室)

9:40～12:10	統一論題セッション1
報告者(1)	加藤百合子氏(株式会社エムスクエア・ラボ 代表取締役)
報告テーマ(1)	農業イノベーションから見える日本の未来に、今必要なこと
報告者(2)	細野賢治氏(広島大学)
報告テーマ(2)	縮小再編段階における日本の農業経営の展開方向—家族経営中心から経営の多様化へ—
コメンテーター	大平義隆氏(北海学園大学)
司会者	手塚公登氏(成城大学)

12:10～13:10 休憩(3304教室)

13:10～15:40	統一論題セッション2
報告者(1)	中村哲也氏(羽立工業株式会社 代表取締役)
報告テーマ(1)	スポーツ用品メーカーから健康産業へ
報告者(2)	中村公一氏(駒澤大学)
報告テーマ(2)	地域企業の戦略的課題—成長と競争の視点から—
コメンテーター	櫻澤 仁氏(文京学院大学)
司会者	小椋康宏氏(東洋大学)

16:00～17:10 特別講演(報告:70分)(大講義室)

16:00～17:10	特別講演
講演者	戸上常司氏(元ヤマハ発動機株式会社 代表取締役社長)
報告テーマ	起業、成長、成熟(停滞?)—それらを自ら体現してみると…—
司会者	杉山三七男氏(静岡産業大学)

18:30～ 懇親会(ホテルクラウンパレス浜松)

第3日 11月16日(日)

9:00

受付

9:30 ~ 12:00

統一論題セッション(報告:各40分 討論70分 計150分)(大講義室)

9:30 ~ 12:00	統一論題セッション3
報告者(1)	宮地琢磨氏(株式会社ビルコート 常務取締役)
報告テーマ(1)	地域製造業の土俵変革での成長戦略
報告者(2)	北居 明氏(大阪府立大学)
報告テーマ(2)	AI(アプレシエティブ・インクワイリー)を通じた職場活性化の試み—AI工場の例
コメンテーター	福原康司氏(専修大学)
司会者	佐々木利廣氏(京都産業大学)

12:00 ~ 13:00

休憩(3304教室)

12:00 ~ 13:00

第71回全国研究大会大会委員会(第一会議室)

13:00 ~ 15:10

自由論題報告(各報告 報告:25分 コメントおよび質疑:15分 計40分)

13:00 ~ 13:40	A会場(3104教室) (自由論題)	B会場(3105教室) (自由論題)	C会場(3404教室) (自由論題)	D会場(3405教室) (自由論題)
報告者	堀江則之氏 (国学院大学栃木短期大学)	細萱伸子氏(上智大学) 新井範子氏(上智大学)	田中克昌氏 (東洋大学大学院)	佐井行雄氏 (東芝ディーエムエス)
報告テーマ	ソーシャル・ビジネスによる 社会イノベーションの一考察	大都市圏に居住する高学歴 ワーキングマザーのキャリア 意識とワークライフバランス	情報技術が変える企業とエ ンドユーザーとの関係—情 報技術の進展とビジネスモ デル	ニッチ型EMSの分業構造 と競争優位—中国における 日系中小EMSの分析から
コメンテーター	上野哲郎氏 (和光大学)	石毛昭範氏 (拓殖大学)	間嶋 崇氏 (専修大学)	河西邦人氏 (札幌学院大学)
司会者	池田玲子氏 (羽衣国際大学)	篠原 淳氏 (日本経済大学)	福田好裕氏 (和光大学)	笠原伸一郎氏 (専修大学)
13:45 ~ 14:25	A会場(3104教室) (自由論題)	B会場(3105教室) (自由論題)	C会場(3404教室) (自由論題)	D会場(3405教室) (自由論題)
報告者	東 俊之氏 (金沢工業大学)	石橋貞人氏 (明星大学)	今井範行氏 (名城大学)	大杉奉代氏 (香川大学)
報告テーマ	伝統産業振興と地域活性化 の関係性—協働する「場」 の構築	職務調査の実践と課題	トヨタ生産システムの進化 の可能性に関する一考察— 環境と会計の視点の適用と その意義	中小企業の新事業開発にお ける組織関係構築と業績 の関係
コメンテーター	杉田 博氏 (石巻専修大学)	田口智子氏 (北翔大学短期大学部)	藤井辰朗氏 (東洋大学)	辻村宏和氏 (中部大学)
司会者	當間政義氏 (和光大学)	瀬戸正人氏(かもにし感 動創造経営研究所)	藤木善夫氏 (東海学園大学)	水谷内徹也氏 (前・富山大学)
14:30 ~ 15:10	A会場(3104教室) (自由論題)	B会場(3105教室) (自由論題)	C会場(3404教室) (自由論題)	D会場(3405教室) (自由論題)
報告者	東 史恵氏 (専修大学大学院)	土屋 翔氏 (神奈川大学大学院)	外村 彩氏 (立教大学大学院)	櫻井敬三氏 (日本経済大学)
報告テーマ	介護におけるイノベーション と価値共創:先行研究レ ビューを中心として	生産者と消費者とをつなげ る経営戦略—“もの”から “サービス”へ	今世紀初頭からのホテル経 営の変遷—機能分化とホテ ル経営形態の変化を中心に	中小製造業の独自の競争力 獲得のための要件
コメンテーター	松本芳男氏 (日本大学)	谷 保範氏 (愛知学院大学)	村瀬慶紀氏 (鈴鹿国際大学)	瀬戸正則氏 (広島経済大学)
司会者	田中雅子氏 (帝塚山大学)	堀田友三郎氏 (東海学園大学)	小宮正稔氏 (東洋大学)	谷井 良氏 (明星大学)

15:10

閉会挨拶 日本マネジメント学会組織委員会委員長 辻村宏和

**常任理事会報告**

日 時 平成 26 年 9 月 13 日 (土)

場 所 山城経営研究所 会議室

議 題

(1) 第 70 回全国研究大会について

第 70 回全国研究大会（静岡産業大学：平成 26 年 11 月 14 日～16 日）の準備状況が報告された。

(2) 会員の入退会について

入会（個人 14 名）、退会（個人 6 名）が承認され、合計（個人 676 名、法人 5 社）となったことが報告された（平成 26 年 9 月 13 日現在）。

(3) 日本マネジメント学会のロゴマークの制定について

学会のロゴマークについて、デザイン案が提示された。

(4) 日本マネジメント学会誌の経過報告について

現在進行中であることが報告された。

(5) 経済学会連合第 34 号について

本学会が原稿担当であり、すでに作成済みであることが報告された。

(6) Cinii の進行状況について

学術情報検索データベース・サービス（Cinii）のサービス廃止に伴い、他のサービスの利用を検討しているということが報告された。

(7) 委員会、研究部会、地方部会の活動報告について

各委員会、各部会の実施状況について報告された。国際委員会より、韓国経営教育学会への派遣報告が大邱大学（10 月 25 日）で行われることが報告された。なお、報告者は大野和巳氏（文京学院大学）である。各部会の活動内容については会報に記載されている。

(8) 第 71 回全国研究大会および第 72 回全国研究大会について

第 71 回は、専修大学（6 月 12 日～14 日）に開催が予定されている。第 72 回については未定である。

(9) その他

（総務委員会より）

・メールマガジンの発行を開始した。

（会員の入退会について）

・新規会員数の増加策を検討する。また、会費未納者が増加しており、自然退会者を減らすための施策を検討する。現在では、3 年間の会費未納で退会になるが、機関誌などは未納であっても送付されるために、自然退会までの期間を 2 年間にすることも今後議論していくことになった。

## ◇◇北海道・東北部会開催のご案内◇◇

北海道・東北部会長 大平 義隆（北海学園大学）

会員の皆様、北海道・東北部会では、以下の要領で部会を開催いたします。本年は、東北仙台で行います。多くの部会員の方々の参加をお待ちしています。また、部会以外の方々のお越しを大いに歓迎いたします。会場で大いに議論し、語り合いたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

- 日時：12月13日（土）14時～17時
- 場所：ハーネル仙台 5階かえで（JR仙台駅から徒歩10分）
- プログラム：（報告30分、質疑45分）
  - 報告1：李東勲（石巻専修大学）  
「フランス地方都市における空き店舗問題とまちづくり」
  - 報告2：大平義隆（北海学園大学）  
「我が国の経営管理再考とその論理的基盤」

\*研究会参加費は無料です。

\*研究会終了後に懇親会を予定しています（場所と会費は当日お知らせいたします）。

\*お問い合わせ：

部会長 大平義隆（北海学園大） Tel：011-841-1161 ohira@ba.hokkai-s-u.ac.jp  
 副部会長 杉田 博（石巻専修大学） Tel：0225-22-7716 hsugita@isenshu-u.ac.jp

## ◇◇関東部会開催のご案内◇◇

開催校担当教員 小椋 康宏（東洋大学）

- 日 時：平成26年12月6日（土）14時～17時30分
- 場 所：東洋大学 白山キャンパス 2号館 16階スカイホール
- 報告プログラム
  - ※報告：40分、コメント・質疑20分

第1報告：14時～15時

報告者	柿崎洋一（東洋大学）
テーマ	企業経営の環境性と社会性
コメンテーター	鈴木岩行（和光大学）
司 会	文 載皓（富士常葉大学）

第2報告：15時10分～16時10分

報告者	増澤洋一（秀明大学）
テーマ	大学における新しい時代の経営教育の在り方について －経営教育学会（現日本マネジメント学会）理論に基づく試験的試み－
コメンテーター	辻村宏和（中部大学）
司 会	ブシェワ ラズ カンデル（嘉悦大学）

## 第3報告：16時30分～17時30分

報告者	佐藤聡彦（明治大学）
テーマ	石坂泰三と土光敏夫の事業哲学の探求－財界活動を中心として－
コメンテーター	松村洋平（立正大学）
司会	池田武俊（千葉商科大学）

- 参加費等：参加費 1,000 円、懇親会費 3,000 円
- お問い合わせ：関東部会長・手塚 公登（045-962-6181 tezuka@seiyo.ac.jp）

## ◇◇中国・九州部会報告者募集のお知らせ◇◇

中国・九州部会長 篠原 淳（熊本学園大学）

平成 26 年度第 2 回中国・九州部会を 2 月から 3 月の間に開催します。  
つきましては会員皆様からの報告者を募集します。報告を希望される方は下記までご連絡下さい。

＜連絡先＞ 篠原 淳（熊本学園大学）(shinohara@bird.ocn.ne.jp)  
※かならず、お名前、ご所属、論題をお知らせください。

<b>山城賞および山城賞奨励賞募集のご案内</b>
---------------------------

平成 26 年度山城賞（本賞）と山城賞奨励賞を以下の要領で募集いたします。奮ってご応募ください。自薦または他薦をお待ちしております。

## 1. 選考対象

対象作品は、平成 25 年 10 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日までの 1 年間に発行されたもの。ただし、対象者は本学会会員であり、応募作品は本学会の研究活動関連する領域のものとし、同一単行本および同一論文の連続応募は認められない。

## 2. 山城賞（本賞）の応募対象

単行本（日本語または英語に限る。共著も可であるが、2 名までとし各人 100 頁以上の執筆分担が明確なものとする）

## 3. 山城賞奨励賞の応募資格

(1) 対象作品：学術研究雑誌である日本マネジメント学会誌『経営教育研究』第 16 巻第 1 号・2 号およびこれに準ずる本学会の刊行物に掲載された論文（日本語または英語に限る。共著不可）

(2) 応募者の年齢：35 歳以下（1978 年 10 月 1 日以降に生まれたもの）

## 4. 応募方法

- ・自薦・他薦いずれも可。
  - ・自薦の場合、当該作品 3 部および内容要旨（A 4 用紙で 1,200 字程度）と履歴書を事務局に提出する。
  - ・他薦の場合、自薦の提出書類に加えて他薦の推薦書（A 4 用紙で以下の 6 項目を記載したもの）を事務局に提出する。
- ①推薦者氏名、②推薦者所属機関、③推薦者の連絡先、④著者名および書名（あるいは



論文名)、⑤出版社名(発行所名)、⑥推薦理由・提出書類、作品については返却いたしません。

#### 5. 山城賞(本賞)・山城賞奨励賞推薦基準

日本マネジメント学会会員の著書・論文で経営体の諸活動に関する実践的研究の発展の向上に資するものであること。

- ①経営原理の歴史的展開または体系化、さらに経営環境の変化に伴う新しい経営原理の提起に関するもの。
- ②経営原理の実践に関する技法の体系化、技法の新展開に関するもの(経営原理に基づいて開発された技法であること、開発された技法が新しい経営原理を導くものであること)。
- ③研究領域は事業体を問わない(いわゆる非営利事業体の全てをも含む)。また地域的特(国際化、各国別特性-日本型経営など、各国別比較など)や経営体の機能別(財務、人事・労務、製造、マーケティングなど)、階層別(経営リーダーシップと管理リーダーシップ)分野を問わない。

#### 6. 応募締切:平成27年1月7日(水) 必着

## 第71回全国研究大会・自由論題報告募集

平成27年6月12日(金)～6月14日(日)に専修大学において開催される第71回全国研究大会の自由論題報告を募集します。下記要領に従ってご応募下さい。

#### 1. 応募資格

本学会の会員。ただし、1年以内に報告された方の応募はご遠慮下さい。

#### 2. テーマ

本学会の目的に沿う以下のもの

- ・経営体の諸活動に関する実践的経営の研究
- ・日本的経営および国際的経営の研究
- ・経営者・管理者の実践的能力を育成するための経営教育の研究

#### 3. 応募書類

応募には表紙、報告要旨、参考文献の3点が必要です。

- ・表紙(A4サイズ1枚)……以下を必ず明記してください。

①氏名(漢字・仮名および英語表記)

②報告テーマ

③所属(現職および職位)

④連絡先(自宅および所属先の電話番号・FAX番号、E-mailアドレス)

- ・報告要旨(A4サイズ、用紙縦置き横書きで2枚以内)

要旨には問題意識、論点、結論等を必ず含めてください。

①字数は2,000字以内(40字30行)、10.5ポイント、余白は上下左右各25mm

②報告テーマはゴシック体、要旨は明朝体

- ・参考文献(A4サイズ1枚)……書式は報告要旨に準じます。

参考文献は内容と密接に関係するものにとどめ、関係の薄いものは控えてください。

上記書類を下記締め切り期日必着にて電子メールまたは郵送でお送りください。

#### 4. 締切

平成27年1月31日(土) 必着

## 5. 応募先・問い合わせ先

日本マネジメント学会事務局（担当：武市）

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-36 S&Sビルディング3階

TEL：03-6674-1836 FAX：03-5228-1233 E-Mail：name@kae-yamashiro.co.jp

### 会費未納の方は至急納入下さい

平成26年度会費（6月末期限）の未納者は、至急納入をお願い致します。

当学会は、会員の皆様方の会費で運営されておりますので、会費納入のご協力を切にお願い申し上げます。なお、会費の納入方法は、次のいずれかです。

①郵便振込の場合（会報に同封の払込取扱票を利用すれば、振込手数料は学会負担となります。）

口座番号：00150-7-535064

②銀行振込の場合

みずほ銀行 飯田橋支店 普通預金口座 1388418

### 各種お問い合わせについて

各種お問い合わせについては、下記までお願い致します。

日本マネジメント学会事務局（担当：武市顕義）

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-36 S&Sビルディング3F 株式会社山城経営研究所内

TEL：03-6674-1836 FAX：03-5228-1233 E-mail：name@kae-yamashiro.co.jp

※学会事務局は、今年の8月に上記に移転し、TEL、FAX番号は変更されていますので、ご留意下さい。

※E-mailアドレスに関しては、事務局共通のアドレスですので（担当者用の個別のアドレスはありません）、アドレス帳に登録されている名称を魚住良三氏（前任者）から武市顕義に変更をお願いします。なおアドレス中のnameは、Nippon Academy of Management（日本マネジメント学会）の頭文字等をとったものです。

### 本欄～会員の最新刊著書を紹介します～

・西田安慶・片上洋 編著『地域産業の振興と経済発展—地域再生への道』

三学出版有限会社 2,000円＋税

※会員の皆様の最新刊著書を紹介いたしますので、事務局へ献本（1冊）をお願い致します。

### 編集後記

11月半ばには全国研究大会、12月には各地域部会の開催と、研究発表の機会が増える時期となってまいりました。ぜひとも積極的なご参加をお願い申し上げます。（会報委員会）

発行 日本マネジメント学会  
（旧称：日本経営教育学会）

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-36  
S&Sビルディング3F  
株式会社山城経営研究所内（担当：武市）  
TEL 03-6674-1836 FAX 03-5228-1233  
E-mail: name@kae-yamashiro.co.jp  
URL: http://www.nippon-management.jp/  
印刷 株式会社ドットケイズ TEL 03-5206-1626  
E-mail: win@good-ks.co.jp